

平成27年度

# 清水町議会

## 総務文教常任委員会学校訪問

\*



期 日 平成28年2月10日（水）

時 間 10:00～

清水町立清水中学校

## 【 日 程 】

10:00～10:40 \*授業参観、校舎見学（大規模改修の状況など）

10:45～11:15 \*学校経営説明

\*学力・体力調査結果等について説明

\*質疑応答

## 【 参観授業 】

学年学級	教 科	指 導 者	学 習（単元）内 容	場 所
3 A 習熟度別	数 学	吉 能 康 大	3年間の総まとめ	3学年室
		里 見 尚		2階進路室
		大 橋 裕 一		3A教室
3 B	社 会	菅 原 克 見	公民的分野「地球社会とわたしたち」	2階教科室
支援1年	社 会	乾 克 彦	都道府県について	1階E組(前)
支援2年	家 庭	中 島 加代子	編み物、補修	1階E組(奥)
支援3年	数 学	谷 薫	時間の計算	1階相談室



表情豊かな生徒をはぐくむ学校の創造



「六華の教え」を  
教育活動に明確に位置付け  
行動規範として、  
具体的取組の設定と評価の視点に

**清水町立清水中学校**  
SHIMIZU JUNIOR HIGH SCHOOL

探究・自学・明朗・協力・健康・努力



実践指標

しみず「教育の四季」との関連  
総合的な学習の時間「清水のために」など  
地域と共に生徒を育てる

### 豊かな学力

基礎基本の確実な定着

特別支援教育の充実

読書で広げ、磨かれる豊かな学力

美しい豊かな学校環境

小・中・高の細やかな連携

多様で充実した情報発信

教師こそが最大の学習環境

### 豊かな環境

### 豊かな心身

いじめのない楽しい学校づくり

中学生らしい元気な挨拶や行動

丁寧な清掃活動

伝統の継承と充実・発展

自らの身を守る健康・安全教育の充実

家庭学習ノート  
指導方法の工夫  
学習意欲の向上

全校で支える  
柔軟な指導体制

朝読書  
移動図書館の活用

校舎内外の環境整美  
言語環境

各種通信  
ホームページ  
公式ブログ

体育祭  
文化祭  
部活動等

いじめの未然防止  
心の教育  
道徳の工夫

生徒会活動

師弟同汗

健康  
交通安全  
防災教育

授業参観交流  
小学校の学びの  
継承と連続性

専門職としての研修  
豊かな人間性  
共働性

その他には。。。

- 教職員の健康管理と服務規律の保持
- 学習指導要領を踏まえた創意に満ちた教育活動
- 進路指導業務の確実な推進
- 生徒理解と問題行動等への対応
- 変化の激しい社会への対応
- 平成 29 年度進路研を見据えた研修
- ユニバーサルデザイン授業研究成果の継承





# 清水中学校の教育

<2015実践編>



表情豊かな生徒をはぐくむ学校の創造



## 豊かな学力

## 豊かな心身



↑ 朝読書や朝学習で、  
落ち着いた一日の始まり



← 十勝意見発表大会  
優良賞

↓ 学び合い、支え合う学習  
で、基礎基本の定着



↑ 少年の主張  
十勝地区大会  
優秀賞



↑ 伝統の組体操は  
安全に配慮して継続



← 十勝英語暗唱大会  
優秀賞

書写ボランティアは  
地域教育力の活用 ↓



← 陸上部は学校対抗大会  
5年ぶりの男子総合優勝。  
2年三好は100mHで  
Jr オリンピック全国大会  
に出場



↑ 第一保育所を訪ねて  
家庭科「保育」の体験学習



↑ すばらしい  
環境の中での  
体力づくり  
学級対抗駅伝



↑ 吹奏楽部定期演奏会は  
町の文化センター大ホールを  
お借りして

## 豊かな環境

↑ 地域の方と  
一緒に花壇整備

大規模改修で  
美しく・温かく  
生まれ変わった  
校舎 ↓



↑ 十勝子ども大会では2・3年生が伝統の「第九」など3曲を披露



清水町立清水中学校  
SHIMIZU JUNIOR HIGH SCHOOL

六  
華  
の  
教  
え

探究・自学・明朗・協力・健康・努力

日々の教育活動の様子は清水中学校の公式  
ブログで連日紹介しています。PC、スマホ等  
から、ぜひご覧ください。

<http://shimizujhs.blogspot.jp/>

□ 学級編成表 □

(平成28年2月9日 現在)

第 1 学 年					第 2 学 年					第 3 学 年				
組	男	女	計	担 任 名	組	男	女	計	担 任 名	組	男	女	計	担 任 名
A	10	16	26	尾崎 弥生	A	13	14	27	吉田 一志	A	17	16	33	吉能 康大
B	10	16	26	大橋 裕一	B	14	13	27	鈴木 祐花	B	18	15	33	近藤 一広
E	1	1	2	吉田 操織	E	4	4	8	里見 尚 谷 薫	E	3	1	4	菅原 克見 乾 克彦
				山本 由佳 中島加代子 宮崎 拓也					小川 志歩 長谷川千代子					池田 志保 所 琢美
計	21	33	54		計	31	31	62		計	38	32	70	186

学 級 数				生 徒 数								
普通学級	6	計	11	普通学級	男	82	女	90	計	172	計	186
特支学級	5			特支学級	男	8	女	6	計	14		

□ 職員構成 □

	職 名	氏 名	担当教科	学級	校務分掌	部 活 動	P T A	本校年数
1	校 長	宝 輪 博 継						1
2	教 頭	伊 澤 理 紀					事務局	2
3	教 諭	尾 崎 弥 生	国語	1 A	生指	吹奏楽	学 年	1
4	教 諭	大 橋 裕 一	数学・TT	1 B	教務	陸 上	総務厚生	7
5	教 諭	山 本 由 佳	英語・TT	1 副	研修	テニス	広 報	5
6	教 諭	吉 田 一 志	理科	2A	教務	バレーボール	学 年	3
7	教 諭	鈴 木 祐 花	英語・TT	2B	研修	テニス	生活環境	3
8	教 諭	小 川 志 歩	社会・サポ	2 副	生指	バドミントン	学 年	5
9	教 諭	吉 能 康 大	算・技・TT	3A	生指	野 球	総務厚生	4
10	教 諭	近 藤 一 広	保体	3B	保体	陸 上	学 年	3
11	教 諭	池 田 志 保	算・理・サポ	3 副	教務	卓 球	広 報	3
12	教 諭	所 琢 美	国語・サポ	3 副	生指	バドミントン	生活環境	2
13	教 諭	吉 田 操 織	特支・音楽	情緒	保体	吹奏楽	学 年	6
14	教 諭	里 見 尚	特支・数学	言語	教務	サッカー	広 報	1
15	教 諭	谷 薫	特支・保体	情緒	生指	サッカー	広 報	2
16	教 諭	菅 原 克 見	特支・社会	病弱	研修	野 球	学 年	3
17	教 諭	乾 克 彦	特支・理科	知的	研修	卓 球	生活環境	6
18	教 諭	中 島 加 代 子	特支	特副	教務	バドミントン	E 組	3
19	養護教諭	長谷川 千代子			保体	バレーボール	総務厚生	5
20	事務職員	大 溝 佳 奈 恵			事務		会 計	1
21	支援員	宮 崎 拓 也				バドミントン		2
22	校務補	佐 々 木 一 俊			事務	サッカー		7
23	事務生	阿 部 和			事務			3
24	相談員	平 山 正 男						1
25	英語実習助手	ジョセフ・キャンティ	清水町教育委員会英語指導助手					2

# 清水中学校 学力向上の取組

## 1 全国学力・学習状況調査の結果から

(1) 平均正答率の推移 → 別紙

(2) 平均正答率から見た課題

①国 語

- ・単語の類別について理解する（例：「青い」と「青さ」の品詞として適切なものを選択する）
- ・手紙の書き方を理解して書く

②数 学

- ・資料の傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明する
- ・与えられた表や式を用いて、問題を解決する方法を数学的に説明する  
（例：底面になる円の半径の長さが8 cmのとき、表や式から、側面になるおうぎ形の中心角の大きさを求める方法を説明する）

③理 科

- ・他者の考察を検討して改善し、水の状態変化と関連づけて雲の成因を正しく説明する
- ・電磁石を動かさず、スイッチを入れたり切ったりすると検流計の針が振れる理由を、「磁界」という言葉を使って説明する

(3) 質問紙からの分析

- ① 学級で協力しての強い達成感7割5分（全国5割5分）
- ② 授業のはじめに目標が示されていると感じる生徒が多い。（本時の目標 9割、全国8割）  
＜振り返り活動は全国と同じ 6割＞
- ③ 読書30分以上が4割以上＝朝読書以外に読んでも。（全国3割）  
月に1回以上図書館を利用が3割以上（全国2割）
- ④ 家庭学習は、2時間以上は2割、1時間未満の生徒が5割以上（30分未満がほぼ4分の1）で、  
家庭学習不足は、昨年度同様である。

## 2 今後の方向性

(1) 全国学力・学習状況調査、CRT学力検査、チャレンジテストなど諸検査・テストでの検証

(2) 校内研修と関連 「ユニバーサルデザインを取り入れた授業」→基礎基本の定着  
「思考力・判断力・表現力の育成」（今年度から3カ年）

(3) 補充的学習の推進

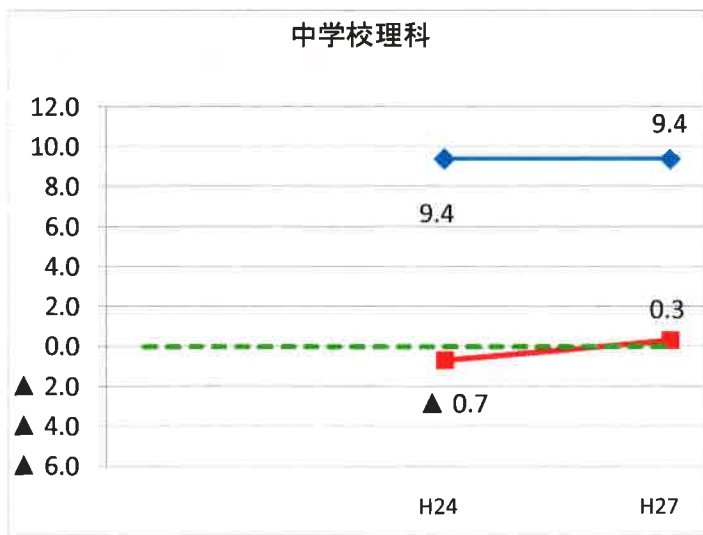
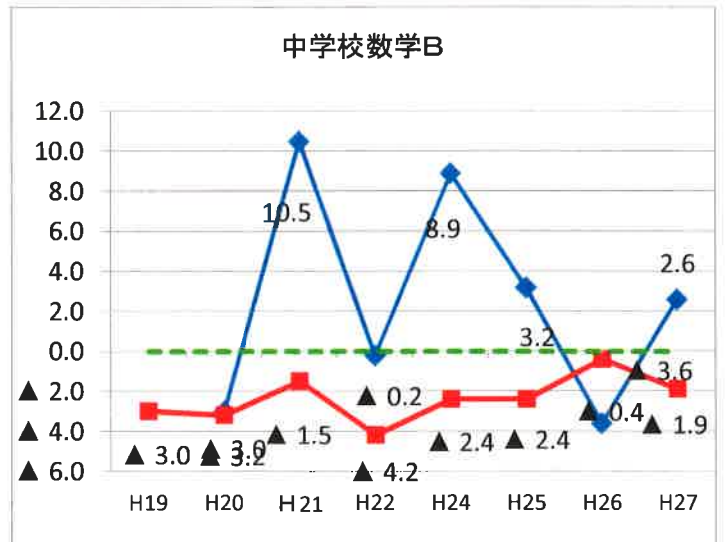
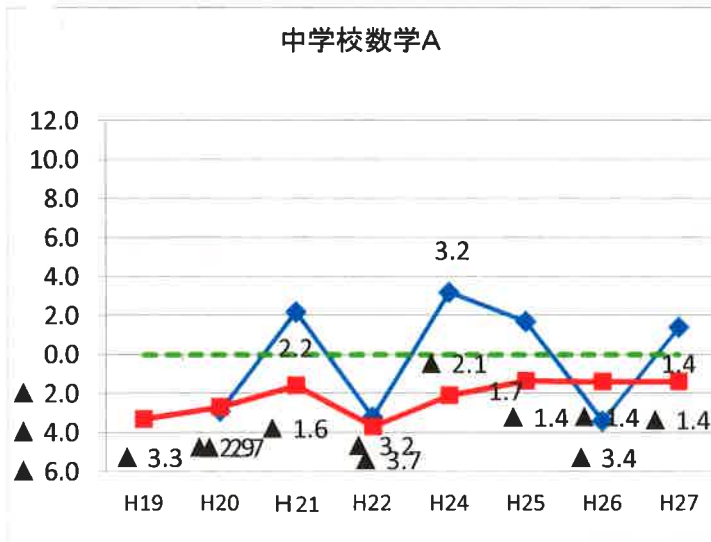
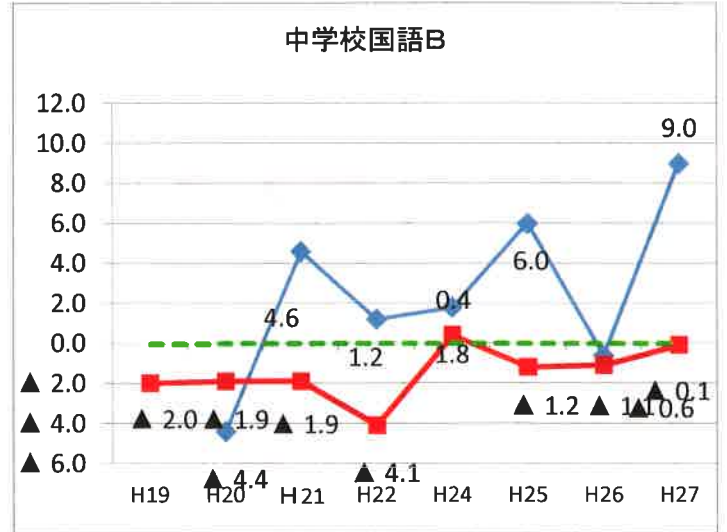
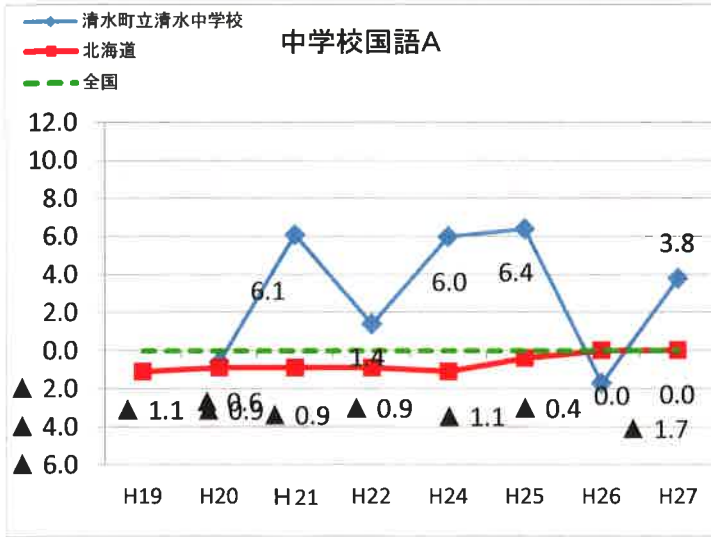


「生徒の弱点克服に向けて」～各教科 成果・課題と今後の取組～ の充実

- ・成果と課題を単元や観点で、簡潔に表記。
  - ・今後の具体的取組＝課題改善策は、評価（数値目標）と連動させる。
- ※「生徒の弱点克服の姿（取組や結果）」が見えるように。



# 清水町立清水中学校の平均正答率の推移

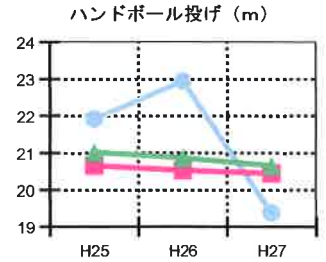
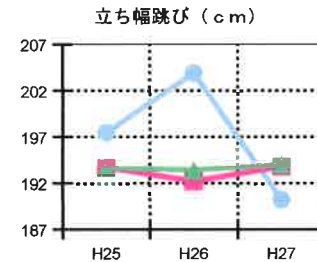
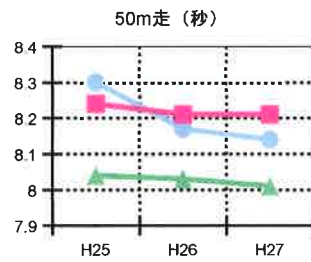
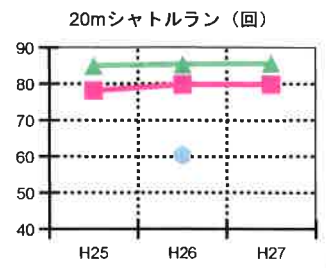
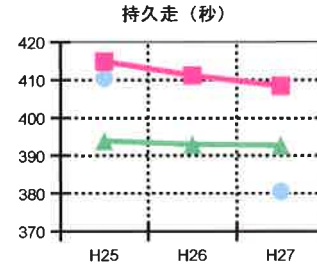
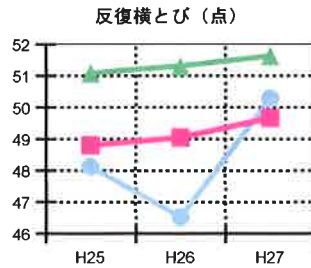
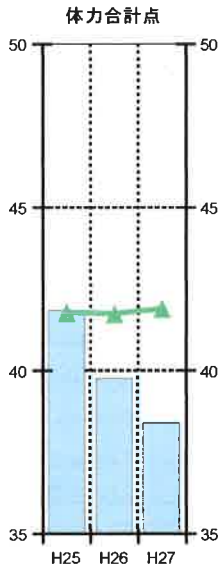
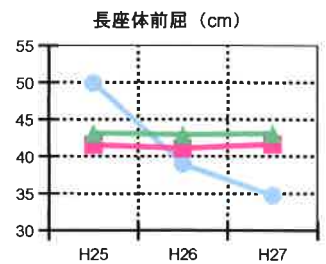
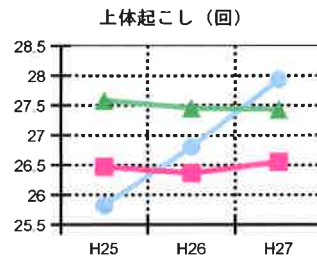
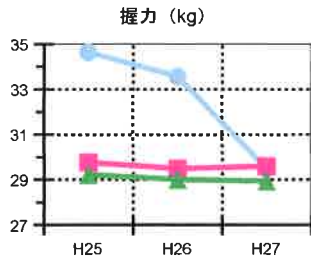


※ 数値は、北海道(公立)の平均正答率-全国(公立)の平均正答率の差で算出

平成27年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査 清水中学校調査結果の概要  
「過去3カ年の2学年の平均値」

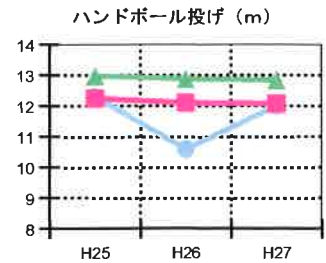
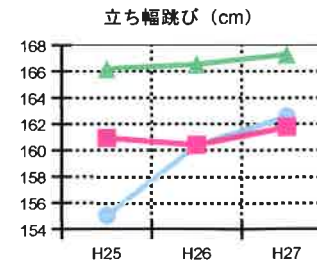
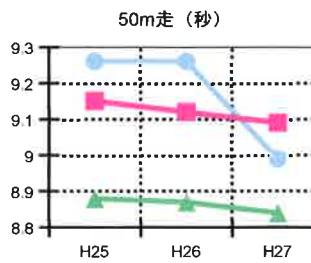
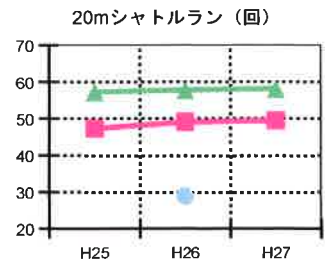
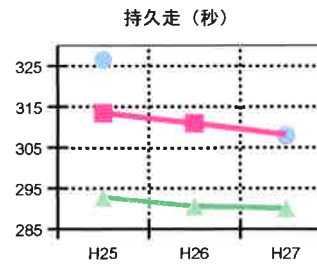
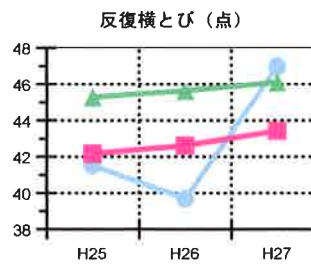
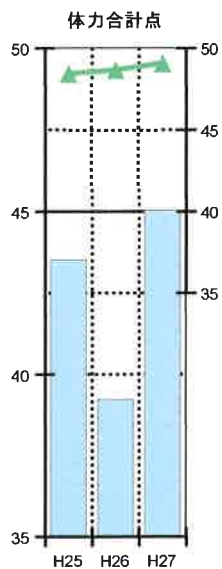
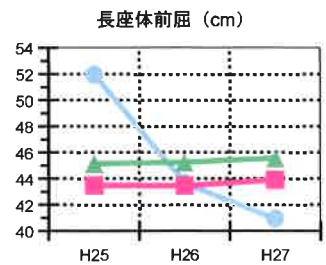
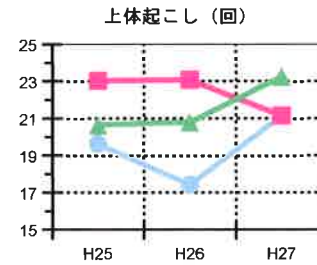
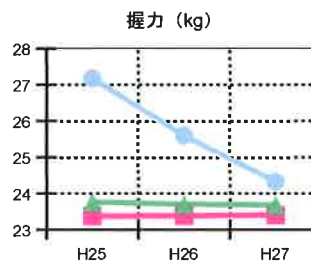
< 男子 >

- 清水中
- 北海道
- ▲ 全国



< 女子 >

- 清水中
- 北海道
- ▲ 全国



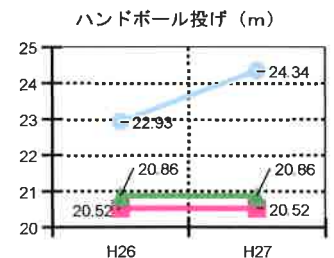
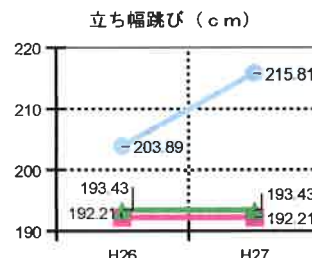
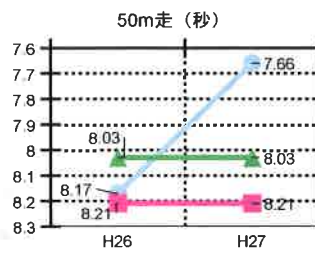
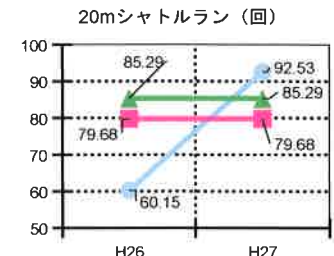
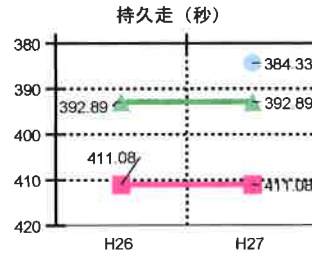
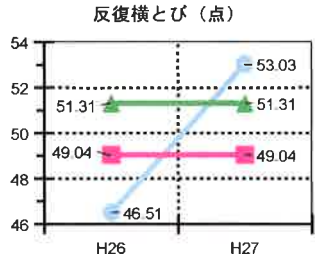
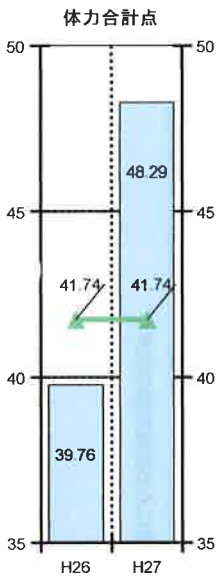
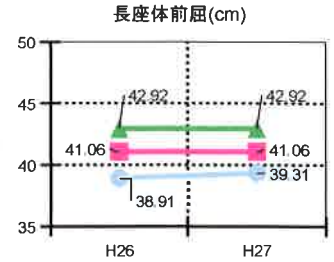
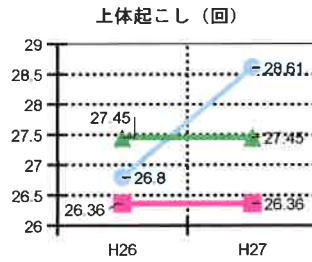
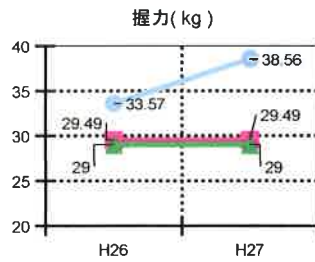


# 平成27年度 新体カテスト 清水中学校第3学年結果（経年変化）の概要

※平成27年度の全道・全国は、3学年としての平均値は出されていないので、2学年の数値をそのままに

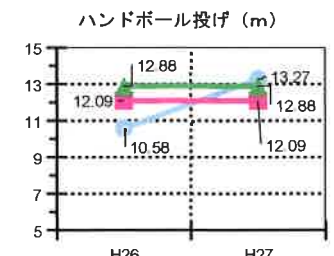
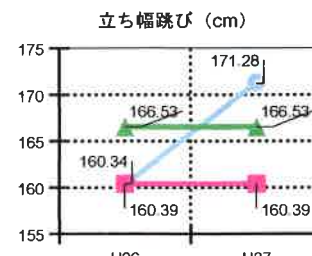
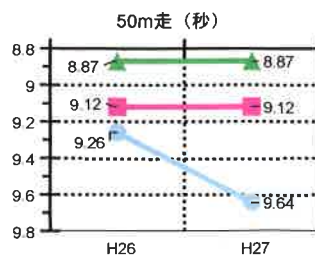
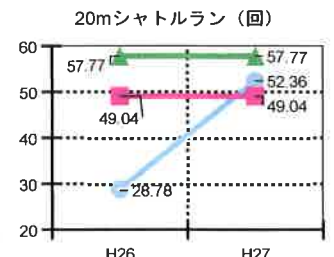
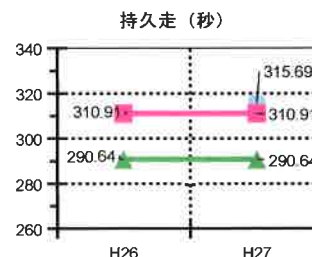
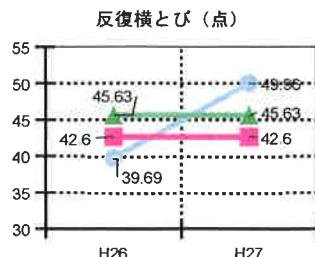
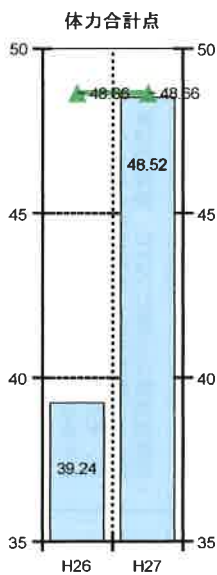
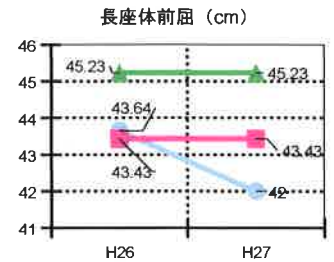
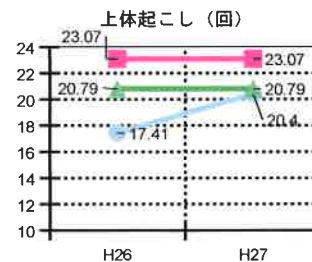
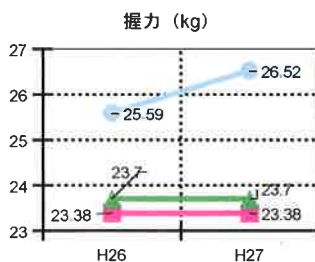
## < 男子 >

- 清水中
- 北海道
- ▲ 全国



## < 女子 >

- 清水中
- 北海道
- ▲ 全国



# 「生徒の弱点克服に向けて」 ～各教科 成果・課題と今後の取組～

## 1. ねらい

各教科において、前期の成果・課題を振り返るかえることを通して、後期にて

- (1) 生徒の弱点克服・改善するための具体的取組を検討する。
- (2) 教科間の共通点や教科独自の傾向について相互理解を図る。

## 2. 内容

- (1) 各教科の「成果」、「課題」、「今後の取組」、「評価方法」について洗い出す。
- (2) 5教科については学年毎、技家・保体・音楽・美術については学年でも全校でも可。  
尚、保体については、全国調査結果をまとめて作成。
- (3) 各教科・学年から出されたものを一覧にまとめる。

### ◇ 各教科改善プラン一覧（一部抜粋） ◇

教科	学年	成果	課題	今後の具体的取組（・課題改善策）	授業改善に生かすための評価（取組・改善策の検証方法・数値目標）
国語	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・知識・理解について、2年次より積み重ねてきた結果、身につくつつある。</li> <li>・複合した資料から内容を読み取ることに苦手意識がなくなりつつある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・獲得した知識を活用することに苦手意識を持つ生徒がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北海道入試問題の分析と、学習教材の研究。</li> <li>・限られた文字数での適切な説明（知識の活用）法の研究。</li> <li>・国語B問題に対応する定期テスト、評価方法の工夫。 →国語B問題を分析し、複合した課題から一つの答えを導き出す方法の学習を行った。 →北海道入試問題を過去10年間分析し、国語A問題との比較を行った。学習教材の中でその分析・比較を生かし、必要な場面で復習を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・獲得した知識を「どのような場面で」「どんな形で」活用するか、ということ、単元を通じて学習させることが不足している。より計画的に取り入れて行く必要がある。</li> <li>・国語B問題においては、社会科における「資料の読み取り」をより国語的に説明する、といった問題もある。できる範囲で他教科との連携をはかりたい。</li> </ul>
数学	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・数学A、Bともに正答率が全国平均より高い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・数学Aでは、関数（-1.6%）資料の活用（-2.1%）での正答率が低い。</li> <li>・数学Bでは、資料の活用（-5.0%）での正答率が低い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文章を読解する力が低いため、言語活動の充実化を図る。</li> <li>・基礎基本の定着のため家庭学習の充実や前年度の学習内容の復習を徹底する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の活動（グループ活動、言語活動）を優先的に授業を展開する。</li> <li>・本校の研修テーマに沿って授業を展開する。</li> </ul>
英語	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ALTの人的、協力的、アイデアのおかげで、生徒たちが生の英語や文化に触れる機会が多く、英語学習に対する良いモチベーションにつながっている</li> <li>・ALTが常駐しているという恵まれた状況のおかげで、定期的にスピーキングテストを実施できるようになり、英語で会話する機会を増やすことができた。</li> <li>・音読指導に力を入れてきたので、英文を流暢に読む力がついてきた</li> <li>・書くこと、話すことといった、自己表現活動ができる力がついてきた</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎からやり直しが必要な少数の生徒に対して、十分な対応ができていない</li> <li>・クラス間で積極性や音読の声の大きさに差がある</li> <li>・受験対策</li> <li>・長文を読む力がついていない</li> <li>・書くことの指導</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文法や単語の復習、問題演習といった帯活動を取り入れ、中学校3年間の総復習と受験対策に努める</li> <li>・クラスの雰囲気作りにつとめていく</li> <li>・長文の問題演習</li> <li>・書かせる内容を工夫して、自己表現に対するモチベーションを高め、書いた英文をくり返し添削して、書く力をつけていく</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スピーキングテストの内容を更に工夫し、生徒にとって良いハードルとなるようなテストにする。評価基準をALTと共に精査し、生徒の力を適切に看取れるようにする</li> </ul>
音楽	全	<ul style="list-style-type: none"> <li>・短時間で取り組むパート練習と充実した全体練習</li> <li>・学級の枠を越え、学年や全校合同練習により、充実、達成感、感動を体感できた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パート練習を進行するリーダーの育成。パート練習で意見を話し合い、互いに高め合おうとする力の育成。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・楽曲のアナリゼを習得する力の育成。音楽の基礎、基本の定着。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽の要素を、音楽活動を通して理解していく支援。</li> </ul>
家庭	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎食品群の分類について、基本的な事項を毎時間繰り返し学習することにより、その後の発展的な学習に生かすことができるようになった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援を要する生徒への指導の工夫。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教材教具による視覚支援の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・評価の基準を明確に生徒に伝える</li> </ul>

MEMO

Handwriting practice area with 15 sets of horizontal dashed lines.





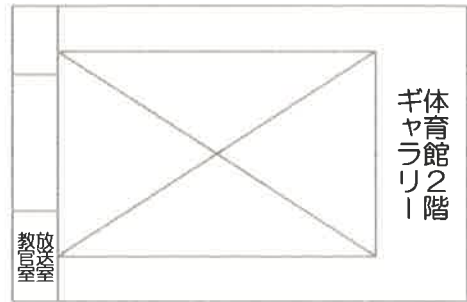
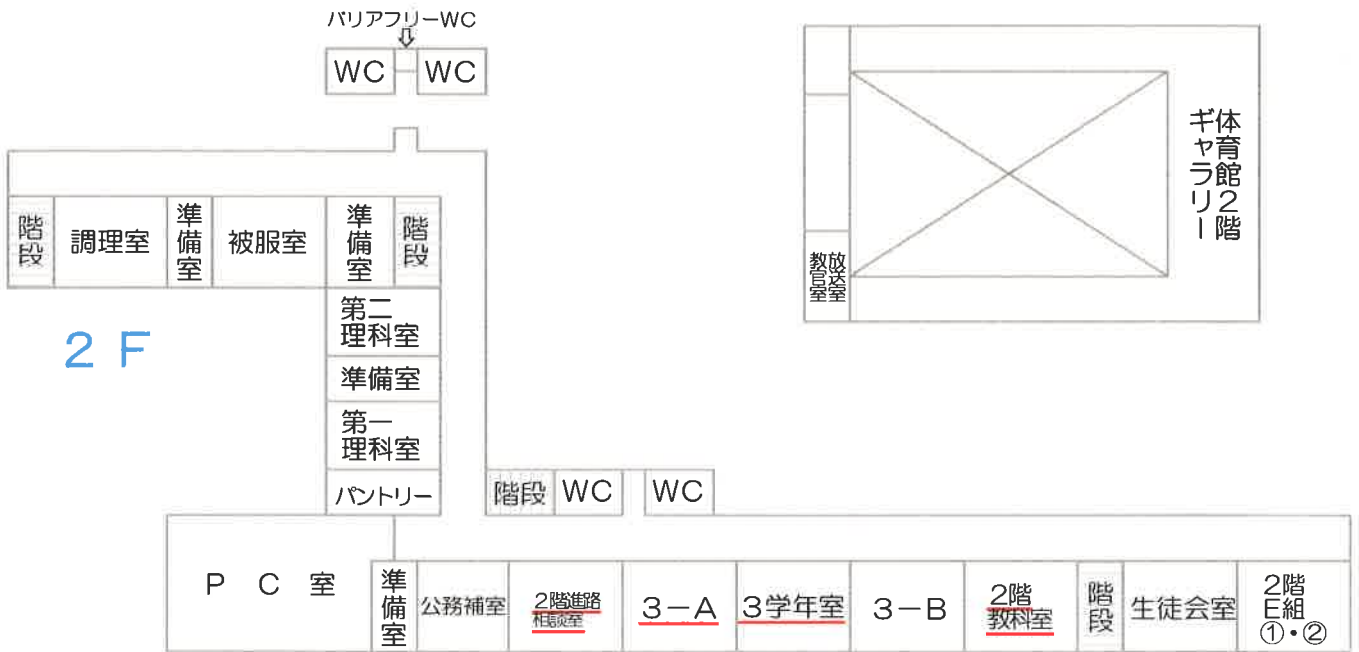
# 清水中学校校舎平面図



3 F

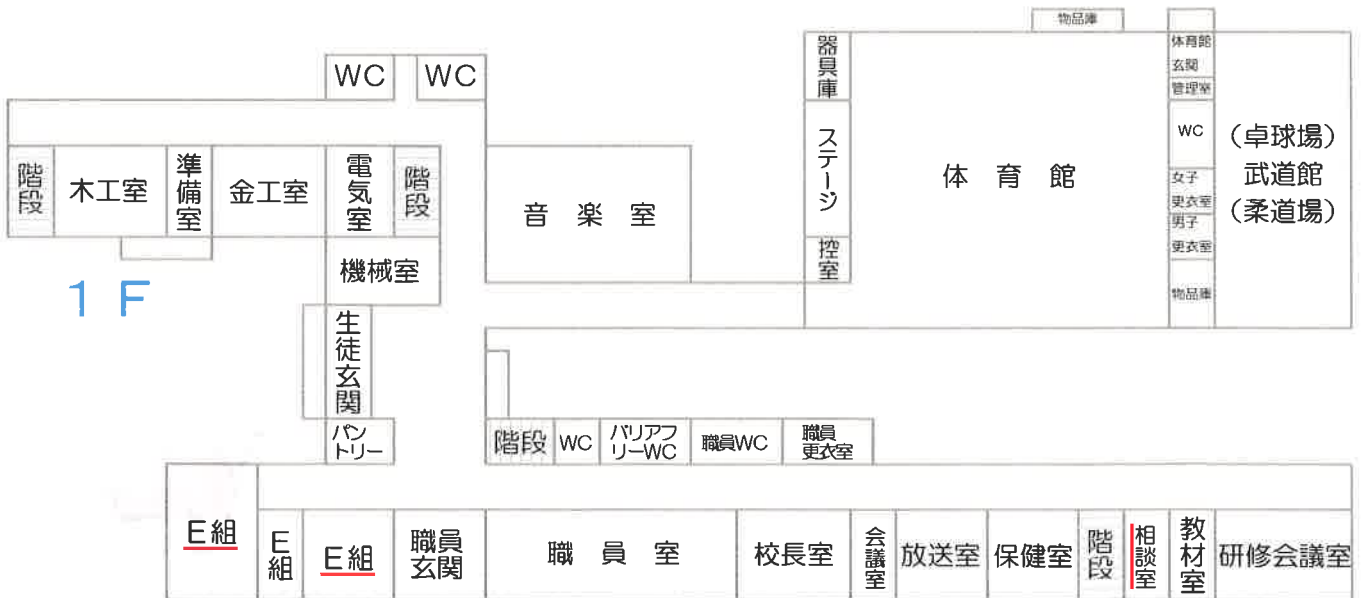


2 F



3A数大橋 3A数大橋 3A数吉能 3B社菅原

1 F



2E家中島 1E社乾

3E数谷

グラウンド